

中原区地域福祉計画について

# 第1章

# 1 中原区地域福祉計画とは

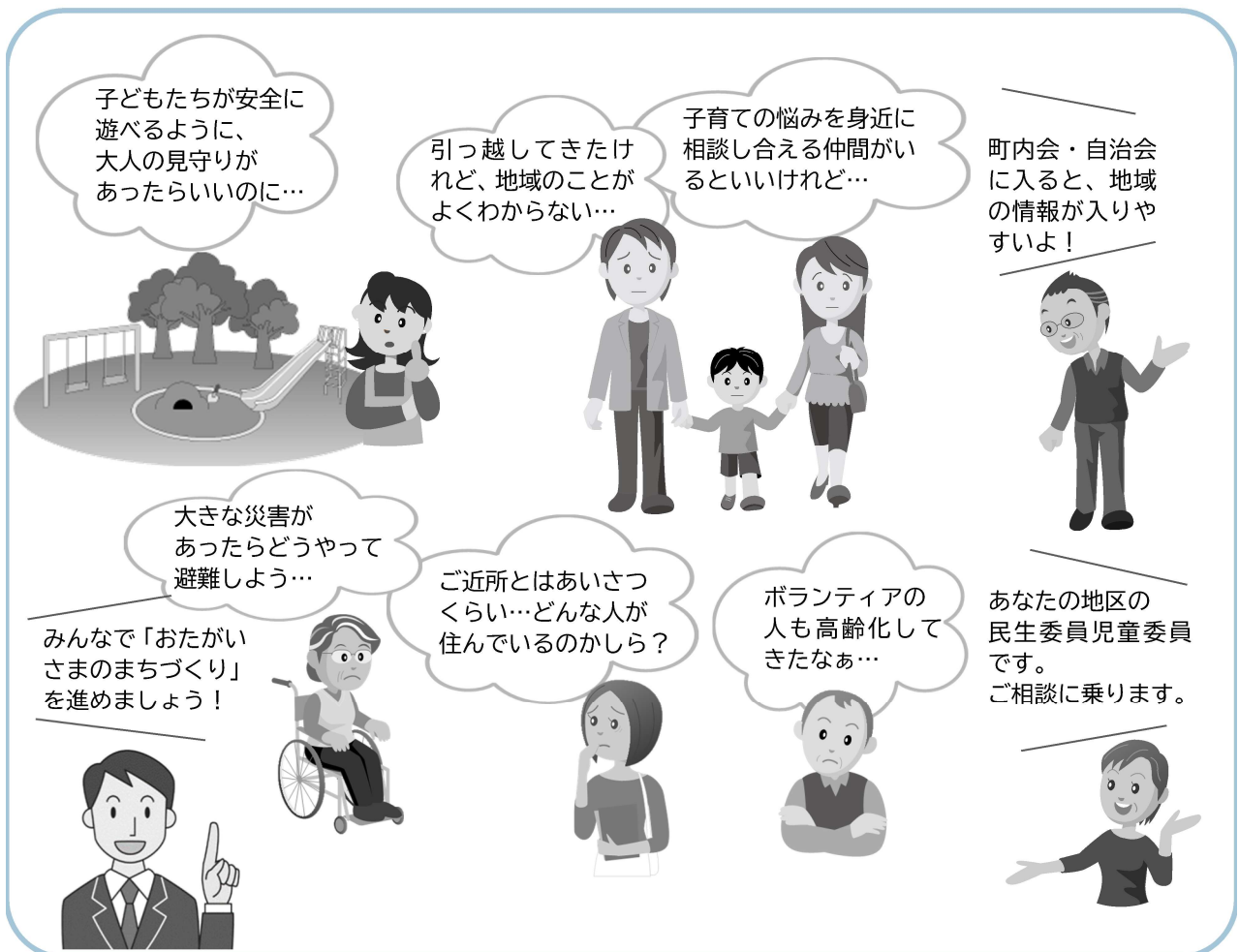
## (1) 中原区地域福祉計画の位置付けと策定の趣旨

中原区は7区で最も人口が多い区であり、大規模マンション等の集合住宅に住む人の割合が高くなっています。若い年代が多く、子どもの数も増えている一方、ひとり暮らし高齢者も増加傾向であり、障害のある方や外国人住民の数も増えています。さまざまな人が、それぞれの課題を抱え、いくつもの課題を抱えている人もいます。

「中原区地域福祉計画」は、区民が抱える生活課題に区民自らが主体となって取り組み、さらに地域全体で支援するための計画です。市全体の課題解決に取り組む「川崎市地域福祉計画」のもと、一人ひとりが自分の住む地域に関心を持ち、より身近な課題に向き合うことが求められます。

地域のつながりによる支え合いを進め、区民と区民を取り巻くさまざまな人や関係機関、行政などが協力し合って、みんなで暮らしやすい中原区をつくりましょう。

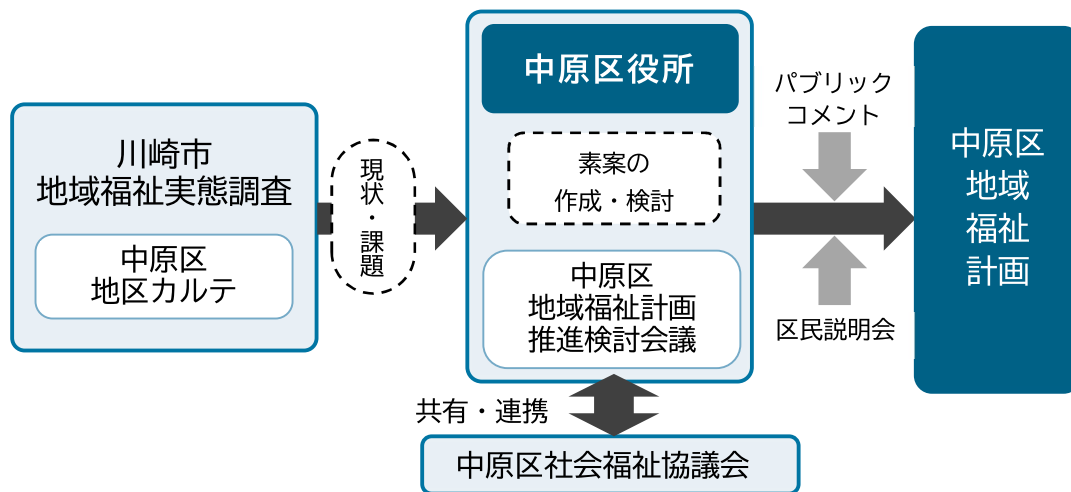
◎あなたの身近にこんなことはありませんか？



## (2) 計画策定の流れ

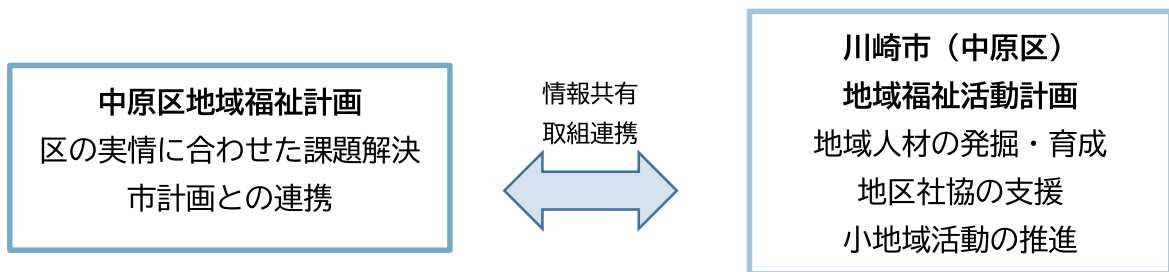
「中原区地域福祉計画」を策定するにあたり、区民や地域福祉活動に携わっている機関・団体へのアンケート調査などで、地域の現状や課題を把握しました。また、課題の共有、情報交換を図りながら情報を「中原区地区カルテ」としてまとめました。

そこで出た課題や現状を踏まえて、区内の各種団体を代表する委員などから構成される「中原区地域福祉計画推進検討会議」で、さまざまな視点から中原区での地域福祉の推進に向けた理念や基本方針、取組のあり方などの意見をいただき、検討を重ねました。計画案は公表し、パブリックコメントや区民説明会等でいただいた意見を踏まえてさらに検討し、この計画を策定しました。



## (3) 中原区社会福祉協議会との連携

中原区社会福祉協議会では「川崎市（中原区）地域福祉活動計画」を策定し、さまざまな立場の団体との間で調整役となり、各分野の力を合わせることで安心して暮らせる中原区の実現をめざしています。本計画の推進にあたっては、区社会福祉協議会と地域の課題を共有し、連携して取り組むことにより、それぞれの理念に基づきながらも、支え合いの地域づくりで安心して暮らせる中原区をめざしていきます。



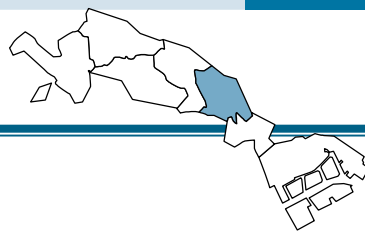
<基本理念>

福祉のこころ、人と人との橋わたしで  
支え合える地域づくり

<基本理念>

『みんなが主役』で『みんなにわかる』、  
そして『みんなでつくる』  
おたがいさまの心で満ちあふれる  
なかはらの福祉

## 2 中原区の地域の特徴



### (1) 区の概況

中原区は川崎市のほぼ中央に位置し、多摩川沿いの緑や二ヶ領用水の水辺、井田山などの自然に恵まれた平地の多い地域です。



東京・横浜・川崎のいずれの方向にも交通の便がよく、都心のベッドタウンとして宅地化が進み、近年では武蔵小杉駅周辺のタワーマンションの建設などにより、特に若い世代の人口が急増し、市内で最も人口が多い区となっています。

また、企業の研究・開発部門などがJR南武線沿線に集積しているほか、さまざまな商業施設が武蔵小杉駅周辺に複数立地して

いることから、市内外からの来街者も多く、全国的にも注目されるまちとなっています。

北部の等々力緑地は、自然・文化・スポーツが楽しめる市を代表する緑地です。Jリーグの川崎フロンターレの本拠地等として利用されている等々力陸上競技場や、バスケットボールでは川崎ブレイブサンダース、富士通レッドウェーブ、バレーボールではNECレッドロケッツの試合も開催されるとどろきアリーナなど、各スポーツ施設のほか、ふるさとの森、釣池などがあり、区民の憩いの場となっています。



#### ● 区の花 パンジー

区制 25 周年を記念して、区民の投票により、平成 10 (1998)年 1 月に制定しました。下小田中のパンジーは、品質面でも高い評価を受けています。



#### ● 区の木 モモ

市制 90 周年を記念して、区民の投票により平成 27(2015)年3月に制定しました。かつては桃や梨などの果樹栽培が盛んで、現在も二ヶ領用水沿いの桃並木が有名です。



## (2)地区(地域包括ケア圏域)の概況

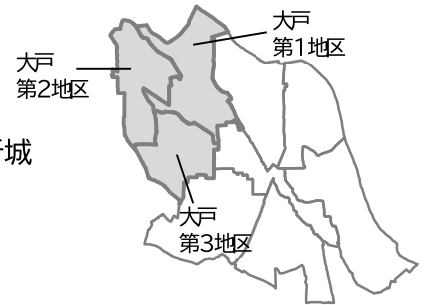
### ● 大戸地区

地区内の町丁名

大戸第1地区:宮内1~4丁目、上小田中4~7丁目

大戸第2地区:上小田中1~3丁目、新城、新城中町、上新城、下新城

大戸第3地区:下小田中1~6丁目



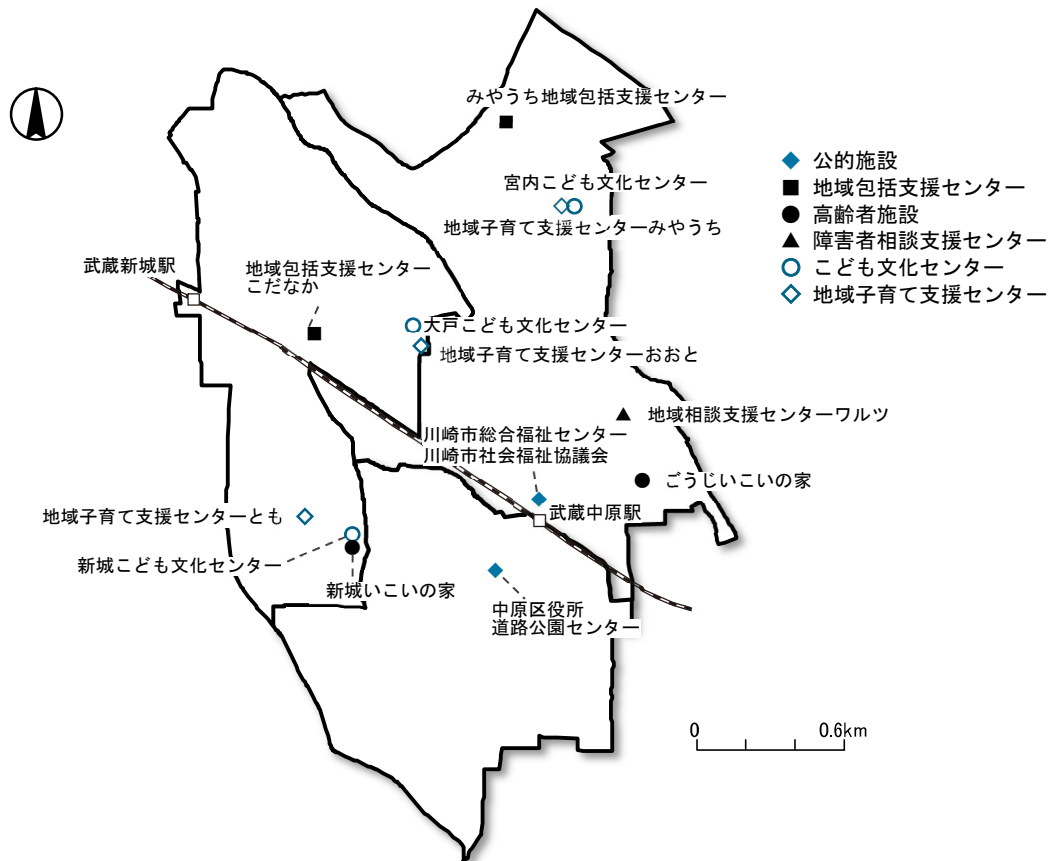
### ■ 地区の概況

- ・大戸地区は中原区の北西部に位置し、平坦地で各地にアクセスしやすいのが特徴です。
- ・エリア内の各駅周辺には、商店街やスーパー、飲食店が多数あるなど、利便性が高くなっています。
- ・また、町内会・自治会及び商店街の数が5地区で最も多いなど、地域活動等に関わる組織が活発であるほか、子どもや若い世代が多いエリアです。
- ・中原区の花・パンジーの産地であるなど、エリア内には農地もあります。






### ■ 地区データ

|             |          |          |         |
|-------------|----------|----------|---------|
| 人口          | 82,761人  | 0~14歳人口  | 10,526人 |
| 世帯数         | 42,080世帯 | 15~64歳人口 | 59,328人 |
| 高齢化率(65歳以上) | 15.6%    | 65歳以上人口  | 12,907人 |

資料:川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」「町丁別世帯数・人口」(令和5年9月末日現在)



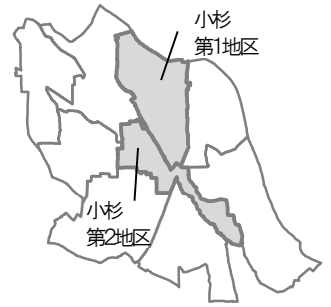
■ 地区の強み・特色 (客観的事実だけでなく、地域の方の主観的な声も掲載しています)

|   |   |
|---|---|
| <p>地域環境</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内に、町工場が多いエリア、商店が多いエリア、農地が多いエリアなどの特徴があり、それぞれに住宅地もあるため、5地区の中で人口が一番多い。</li> <li>・武蔵中原、武蔵新城駅周辺はスーパーや商店街が多数あり、利便性が高い。</li> <li>・町内会・自治会の数と加入世帯数が5地区の中で最多である。</li> <li>・長くある住宅や商店が見られる一方で、ファミリーマンションも増えており、さまざまな年代が暮らしている。</li> </ul>       |
| <p>施設</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵新城駅周辺には、コミュニティカフェや地産野菜販売&amp;カフェ、築100年の納屋をリノベーションしたコミュニティスペースなど、地域コミュニティの拠点が複数ある。</li> <li>・町内会館、いこいの家、公園などの施設が地域活動に活発に活用されている。</li> <li>・医療機関が多くあり、往診(訪問診療)を積極的に行っている医院もある。</li> <li>・かかりつけ医をもつ住民も多い(地域の声)。</li> </ul>               |
| <p>地域活動</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の団結力が強く、婦人部が中心となった世代間交流などの取組もある。(地域の声)</li> <li>・地域の高齢者を対象にした脳トレや体操、レクリエーション、健康麻雀など、さまざまな活動が行われている。</li> <li>・自立と共生を合言葉に入居者と地域住民の交流の場となっているグループリビングがある。</li> <li>・拠点となる場所を提供してくれる地域の人がいて、高齢者の通いの場や親子向けの広場など、新たな活動の芽が出ている。</li> </ul> |
| <p>子育て・教育</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が主体となって開催している大戸地区の子育てサロンは、参加親子の交流に加えて、区の保健師からの話や外部講師によるプログラム、季節に応じた内容などで実施しており、多くの親子の居場所になっている。</li> <li>・下小田中保育園は貸出絵本の利用者が多く、子育て支援の拠点として地域からの要望も高い。</li> <li>・小中学生等と保育園児の交流や職場体験・体験学習等で子どもと地域との交流がある。</li> </ul>                   |
| <p>安全・安心・防災</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的かつ、自主的に交通安全キャンペーンを実施している地域がある。</li> <li>・地区内の学校を避難所とする自主防災組織が、合同で避難所訓練を実施している。</li> </ul>  |

## ●小杉地区

地区内の町丁名

- 小杉第1地区:小杉町1～3丁目、小杉御殿町、小杉陣屋町、等々力
- 小杉第2地区:市ノ坪、今井西町、今井南町、今井仲町、今井上町



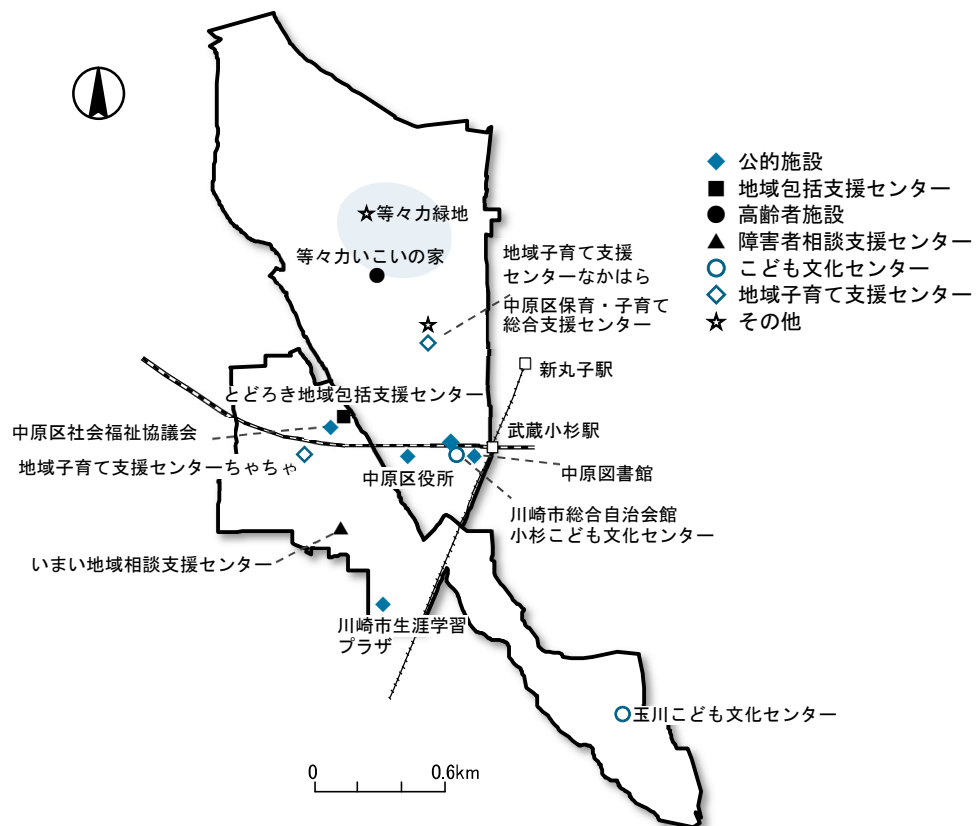
## ■ 地区の概況

- ・小杉地区は、中原区の中央及び南北に細長く区分されており、区役所や図書館などの公共施設があります。
- ・武蔵小杉駅周辺の高層マンションや商業施設などの新しい街並みと昔からの戸建てが混在しているエリアです。
- ・等々力エリアは等々力緑地など、豊かな自然を満喫できる公園や施設があるなど、区民の憩いの空間が広がっています。
- ・若い世代の転入により、高齢化率が低いエリアと、高いエリアが見られるのが特徴です。






## ■ 地区データ

|             |          |          |         |
|-------------|----------|----------|---------|
| 人口          | 53,431人  | 0～14歳人口  | 7,398人  |
| 世帯数         | 27,452世帯 | 15～64歳人口 | 38,344人 |
| 高齢化率(65歳以上) | 14.4%    | 65歳以上人口  | 7,689人  |

資料:川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」「町丁別世帯数・人口」(令和5年9月末日現在)



■ 地区の強み・特色 (客観的事実だけでなく、地域の方の主観的な声も掲載しています)

|   |   |
|---|---|
| <p>地域環境</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵小杉駅周辺には大規模病院、大型商業施設、中原図書館等があり、利便性が高く、地区外・区外からの来訪者も多い。</li> <li>・高層マンションの建設が続いており、多数の転入があり生産年齢人口が増えている。</li> <li>・小杉御殿町のように歴史ある街並みがある。</li> <li>・地区内のニヶ領用水や渋川沿いは、季節を感じられるウォーキングコースになっている(地域の声)。</li> </ul>   |
| <p>施設</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵小杉駅前のこすぎコアパークでは、地域や地元商店街による地域のイベントが多数実施されている。</li> <li>・等々力緑地には、陸上競技場、野球場、テニスコート、サッカー場、とどろきアリーナなど多数の運動施設がある。また、釣池、四季園、ふるさとの森など自然とのふれあいを深める施設も充実している。</li> <li>・ひとり親家庭が各種相談できる施設として、「母子・父子福祉センター サン・ライヴ」がある。</li> <li>・川崎市総合自治会館や小杉こども文化センター等、駅近接の高層マンションの中に公的な施設が入っており、地域によらず利用しやすい立地の施設がある。</li> </ul> |
| <p>地域活動</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな資源が集約している地区の特性により、小杉地区・丸子地区で新しく地域活動を始める団体が多い。</li> <li>・一般社団法人武蔵小杉エリアマネジメントが高層マンションを中心とした地域コミュニティの形成のために、サークル活動を始めたさまざまな取組を行っている。</li> <li>・地域の交流の場となるコミュニティカフェの再開や新たなカフェの活動が始まっている。</li> </ul>  |
| <p>子育て・教育</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が主体となって開催している小杉地区の子育てサロンは、参加親子の交流に加えて、近隣保育園の保育士による手遊びや季節に応じた内容などで実施しており、多くの親子の居場所になっている。</li> <li>・地域の商業施設でも、親子が楽しめるさまざまなイベントを企画しており、子育て支援の取組が活発である。</li> <li>・中原区保育・子育て支援センターが民間保育施設や地域の子育て世帯に活用されている。</li> </ul>  |
| <p>安全・安心・防災</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵小杉駅周辺で、区民と鉄道事業者、行政等が連携して帰宅困難者対策訓練を実施している。</li> <li>・地区内の学校を避難所とする自主防災組織が、合同で避難所訓練を実施している。</li> </ul>  |



## ●丸子地区

地区内の町丁名

丸子地区：新丸子東1～3丁目、上丸子山王町、丸子通、  
新丸子町、上丸子天神町、上丸子八幡町



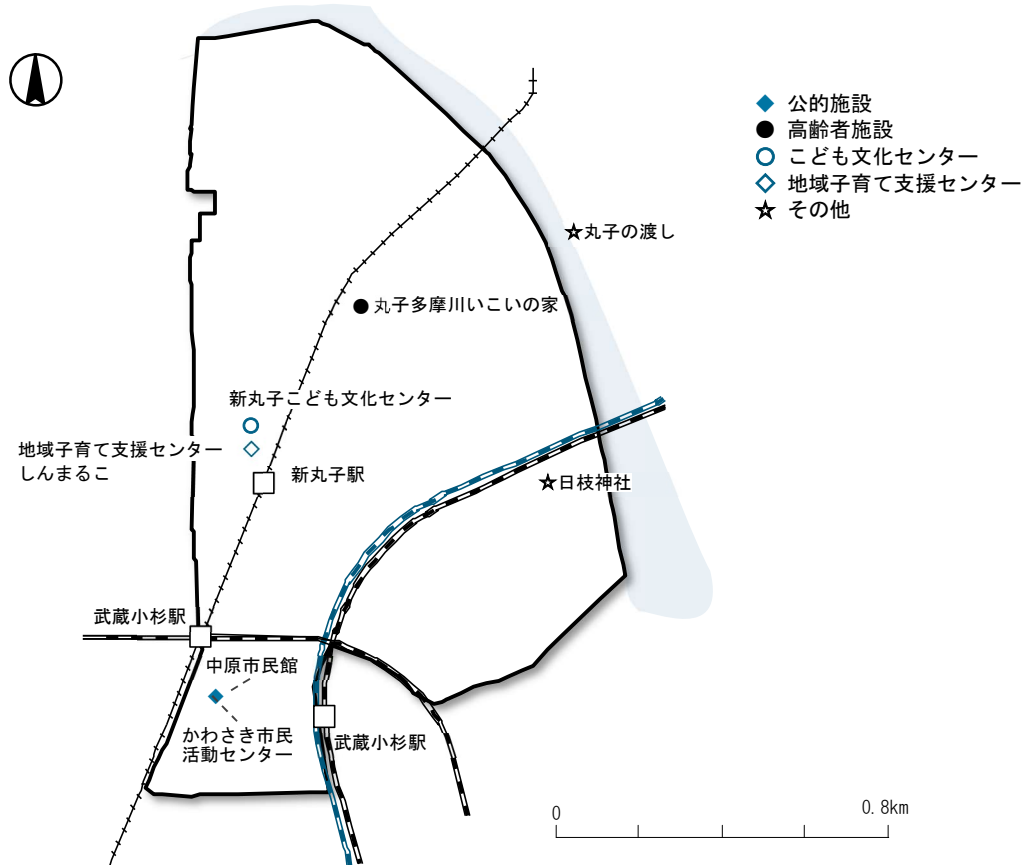
### ■ 地区の概況

- ・丸子地区は中原区の北東部に位置し、商業と住宅地が広がるエリアです。
- ・小杉地区に隣接しており、こちらも高層マンションと昔ながらの住宅が混在しています。
- ・多摩川に面したエリアで、「丸子の渡し」や「日枝神社」のお祭りなど、歴史的な文化に触れられる取組も行われています。






### ■ 地区データ

|             |          |          |         |
|-------------|----------|----------|---------|
| 人口          | 29,553人  | 0～14歳人口  | 2,937人  |
| 世帯数         | 18,029世帯 | 15～64歳人口 | 22,277人 |
| 高齢化率(65歳以上) | 14.7%    | 65歳以上人口  | 4,339人  |

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」「町丁別世帯数・人口」(令和5年9月末日現在)



■ 地区の強み・特色 (客観的事実だけでなく、地域の方の主観的なお声も掲載しています)

|   |  |
|---|--|
| <p>地域環境</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵小杉駅周辺の整備が進み、利便性が高い影響か、丸子地区においても高層マンションやファミリーマンションの建設により、転入が増えている。</li> <li>・等々力緑地と多摩川が近いこと、自然や緑に親しみやすく、散歩等に良い環境である。</li> <li>・新丸子駅周辺に商店街が広がっており、さまざまなイベントが実施されている。</li> <li>・「丸子の渡し」、多摩川での「どんど焼き」など、地域の文化を感じられる催しがある。</li> </ul>       |
| <p>施設</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代に創建された歴史ある日枝神社がある。</li> <li>・社会教育・生涯学習の拠点となる中原市民館や、市民活動の活性化を促進するかわさき市民活動活動センターがある。</li> <li>・新丸子駅周辺の商店街は、地域密着型の店舗が多い。</li> <li>・丸子多摩川いこいの家を拠点とした地域活動が活発に行われている。</li> <li>・丸子橋周辺の多摩川河川敷は地域のいこいの場となっている(地域の声)。</li> </ul>              |
| <p>地域活動</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会ごとの「すこやか会」や「お茶会」などの取組が活発で閉じこもりや認知症予防、多世代交流の場となっている。</li> <li>・民生委員児童委員、地区社協会員のほか福祉協力員、有志ボランティア等が積極的に関わり、ひとり暮らし高齢者への見守りを行っている。</li> <li>・「丸子多摩川観光協会」を中心に、「丸子の渡し」祭りや多摩川水神祭など地域に存在する郷土芸能及び文化の発展に寄与する取組が活発に行われている。</li> </ul>              |
| <p>子育て・教育</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が主体となって開催している丸子地区の子育てサロンでは、参加親子の交流に加えて、季節に応じた内容やサロンスタッフの読み聞かせなどを実施しており、多くの親子の居場所になっている。</li> <li>・多摩川を題材とした自然に親しむ学習に力を入れている小学校がある。</li> <li>・民生委員児童委員、地区社協会員のほか福祉協力員、有志ボランティア等が、乳幼児の虐待予防、支援を要する母子・父子への見守りのために、積極的に関わっている。</li> </ul> |
| <p>安全・安心・防災</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の学校を避難所とする自主防災組織が、合同で避難所訓練を実施している。</li> <li>・みやうち地域包括支援センターが災害時に使用するSNSグループを作成している(丸子地区に限らず、みやうち地域包括支援センターが担当している地域で実施している)。</li> </ul>   |

## ●玉川地区

地区内の町丁名

玉川地区：中丸子、下沼部、上平間、北谷町、田尻町、上丸子



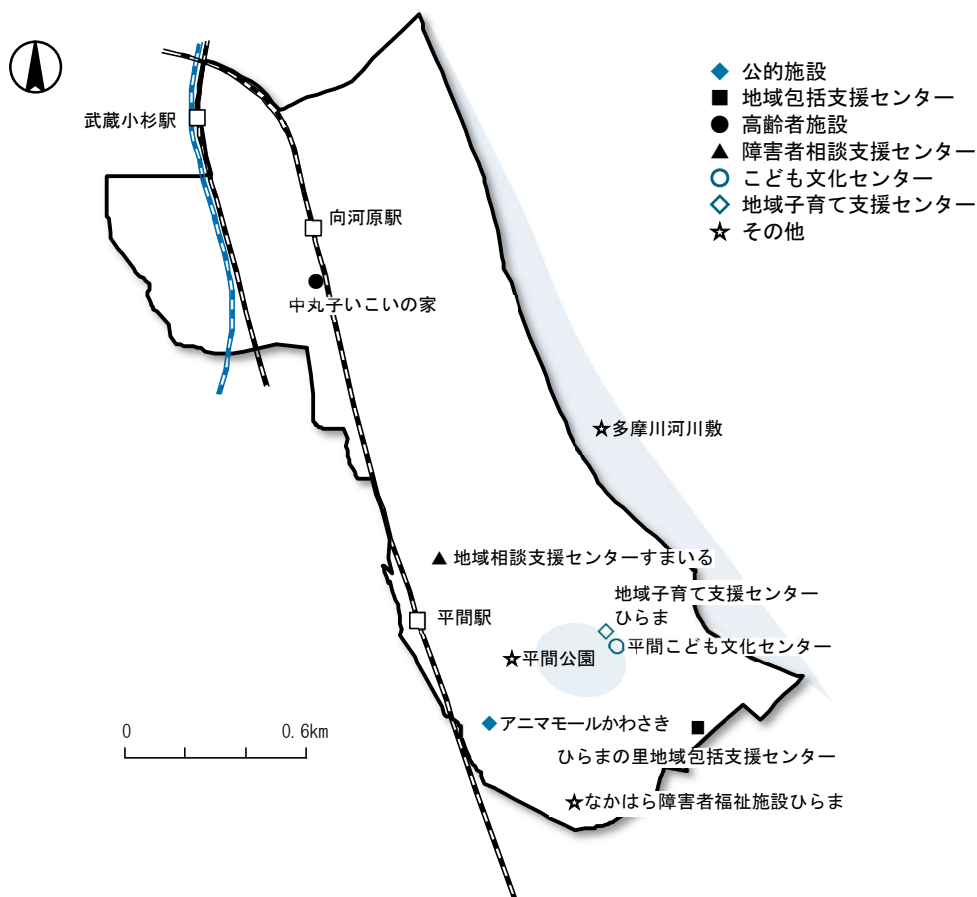
## ■ 地区の概況

- ・玉川地区は中原区の南東部に位置し、多摩川に面している細長いエリアです。
- ・5地区の中では最も高齢化率が高くなっています。
- ・エリア内には、平間公園や多摩川河川敷など規模の大きい公園や散歩ができる場所があります。また、上平間にある動物愛護施設「アニマモールかわさき」は、施設の一部を地域に貸し出すなど、地域活動にも活用できる施設もあります。






## ■ 地区データ

|             |          |          |         |
|-------------|----------|----------|---------|
| 人口          | 35,598人  | 0～14歳人口  | 4,512人  |
| 世帯数         | 18,591世帯 | 15～64歳人口 | 24,730人 |
| 高齢化率(65歳以上) | 17.9%    | 65歳以上人口  | 6,356人  |

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」「町丁別世帯数・人口」(令和5年9月末日現在)



■ 地区の強み・特色 (客観的事実だけでなく、地域の方の主観的なお声も掲載しています)

|   |  |
|---|--|
| <p>地域環境</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩川や緑道、公園が地域の方の散歩や運動の場、いこいの場となっている。</li> <li>・坂が少なく平坦な道が多いため、自転車で移動しやすい。</li> <li>・日本電気株式会社(NEC)の玉川事業場が立地し、NEC玉川吹奏楽団が区役所コンサートに参加するなど、地域に向けた取組を行っている。</li> <li>・玉川地区は向こう三軒両隣といった、地縁が深い住民が多い。マンションや集合住宅に居住している住民同士でも、交流がある。</li> </ul> |
| <p>施設</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大正5(1916)年に、当時の神奈川県知事・有吉忠一が「郡道改修」の名目につくった、有吉堤(上平間～下沼部)がある。</li> <li>・中丸子緑道等では地域住民により花壇活動などが行われている。活動には保育園の園児がスポット的に参加し、地域交流が生まれている。</li> <li>・かわさきゆめホールは、協同組合川崎中小業者総合センターにあり、ホールや会議室が地域に貸し出されている。</li> </ul>                         |
| <p>地域活動</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会ごとに高齢者の見守りネットワーク、防犯パトロール、下校時の見守りなどを独自に実施している。</li> <li>・献血活動や福祉祭り等の地域活動に熱心な地元企業がある。</li> <li>・地域の自主活動や祭事を通じて、同世代だけでなく、多世代の交流がある。</li> <li>・町会や地域で色々な催しがあるので、色々な行事に参加できる(地域の声)。</li> </ul>  |
| <p>子育て・教育</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が主体となって開催している玉川地区の子育てサロンは、参加親子の交流に加えて、地域のリトミック講師によるリズム遊びや季節に応じた内容で開催しており、多くの親子の居場所になっているとともに、地域人材との交流がある。</li> <li>・平間公園内には児童プールがあるほか、公園に隣接しているこども文化センター・地域子育て支援センターでも親子がのびのびと遊べる(地域の声)。</li> </ul>                              |
| <p>安全・安心・防災</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上平間地区では春と秋に交通安全街頭監視を実施している。</li> <li>・地区内の学校を避難所とする自主防災組織が、合同で避難所訓練を実施している。</li> <li>・町内会の防災意識が高く、自主防災活動がある。</li> </ul>  |

## ●住吉地区

地区内の町丁名

住吉第1地区:井田1~3丁目、井田中ノ町、井田杉山町、  
井田三舞町、木月大町、木月伊勢町、木月祇園町、  
木月1・3丁目

住吉第2地区:木月2・4丁目、木月住吉町、苧宿、西加瀬、大倉町



## ■ 地区の概況

- ・住吉地区は中原区の南部に位置し、地区内を走る東急東横線の線路に沿って、エリアが分かれています。
- ・元住吉駅周辺には、「モトスミ・ブレーメン通り」、「オズ通り」といった商店街があります。
- ・エリア内には「川崎市国際交流センター」や「中原平和公園」などの施設がある他、春の渋川や矢上川沿いは桜の名所となっています。
- ・平坦な道のりが広がっていますが、区内唯一の丘陵地帯の井田山があるのも特徴です。

## ■ 地区データ

|             |          |          |         |
|-------------|----------|----------|---------|
| 人口          | 61,233人  | 0~14歳人口  | 7,466人  |
| 世帯数         | 33,360世帯 | 15~64歳人口 | 43,609人 |
| 高齢化率(65歳以上) | 16.6%    | 65歳以上人口  | 10,158人 |

資料:川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」「町丁別世帯数・人口」(令和5年9月末日現在)

